

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 区民部 課 区民課

施設名称	〔1〕 東京都台東区立浅草公会堂					
指定管理者の名称	明治座・野村ビルマネジグループ		指定期間	H21.4.1 ~ H26.3.31		
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	(株)明治座：①演劇興行②飲料事業③不動産管理事業 野村ビルマネジメント(株)：①ビルマネジメント事業②建築インテリア事業③プロパティマネジメント事業④公施設事業⑤不動産取引事業					
(2) 類似施設の管理実績	(株)明治座：明治座ほか 野村ビルマネジメント(株)：中野区文化施設3館、国分寺市立いずみホールほか					
(3) 経営状況	22年度決算 (株)明治座：総収入7,317,152千円、総支出6,936,421千円 野村ビルマネジメント(株)：総収入39,635,302千円、総支出32,897,259千円					
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	台東区浅草1-38-6					
(2) 設置目的	区民の福祉を増進し、文化の向上を図る					
(3) 利用者	区民をはじめとした多くの方々					
(4) 開館日・時間	臨時休館日を除く全日 9時から21時					
(5) 規模	延床面積 12,185.63㎡ SRC造 一部RC造 地上5階地下2階 塔屋2階 ホール(1,082席)、第1・第2・第3集会室(各105.8㎡)、展示ホール(173㎡)					
(6) 人員体制	常勤16名、その他(パート)10名					
<b>3. 事業(サービス提供)の概要</b>						
(1) 委託事業	(1)公会堂の施設、付帯設備及び物品の保全並びに調整に関すること (2)公会堂の場内整理に関すること (3)公会堂内の清潔、整頓その他環境の整備に関すること (4)使用の承認等の連絡に関すること 等					
(2) 自主事業	明治座アカデミー卒業公演(5月実施)、殺陣演技ワークショップ(4月、11月実施)					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料	164,836,000	182,537,000	183,851,000	99,000,000	99,000,000
	料金収入等	0	0	0	129,900,000	129,900,000
	管理経費	164,836,000	182,537,000	183,851,000	228,900,000	228,900,000
決算	委託料	141,941,306	171,113,699	167,528,377	99,000,000	99,000,000
	料金収入等	0	0	0	136,336,635	131,759,303
	管理経費	141,941,306	171,113,699	167,528,377	231,568,794	228,557,661
	収支	0	0	0	3,767,841	2,201,642
<b>5. 施設の稼働状況等(活動指標)</b>						
指標名称	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	
開館日数	日	306	324	361	358	
ホール利用日数	日	240	278	283	271	
ホール利用可能日数	日	306	318	319	332	
<b>6. 成果指標</b>						
指標名称	単位	目標値(24年度)	20年度	21年度	22年度	
ホール利用率(利用日数/利用可能日数)	%	90.0	87.4	88.7	81.6	
集会室利用率(利用日数/利用可能日数)	%	45.0	46.1	42.6	42.9	

※平成20年度以前は、他の指定管理者による管理運営

## 7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

22年度は、集会室の空き日に「殺陣」の基本体験レッスンを2回実施した。また、省エネルギーの取組みにおいても、利用者の利便性・快適性を損なわない範囲で引き続き実施。女子トイレの一部に節水器を取り付ける等行った。

## 8. 評価項目

3：協定等の水準を上回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。  
 0：協定等の水準を下回っている。  
 -：評価対象外項目。

評価の観点	評 価 項 目			
(1) 事業の運営 平均 [1.9]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[2]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[1]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.1]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[3]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[2]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費縮減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

## 9. 評価

S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未達）： 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評 価	説 明
(1) 事業の運営	B	ホール等予約のない日に保守点検や修繕などを可能な限りまとめて実施し、臨時休館日を極力減らし運営を行なっているが、3.11の震災を受け、行動基準に一部課題が見られたので、これまでの危機管理マニュアルを見直す必要がある。
(2) 施設の維持管理	A	施設内の設備や備品・物品は、見回り点検時の他清掃の際にも必ずチェックし安全に保っている。また、省エネルギーの取組みとして、白熱タイプの電球をLEDランプに交換やトイレに節水器取付などを行っている。
(3) 利用者の満足度	A	利用者によるアンケートにおいては、スタッフ対応が良いとの評価を得ている。また、リピーターが多いことから満足度が高いことが伺える。
(4) 歳入歳出	A	3.11の震災後のキャンセル等で、ホール等利用料金のキャンセル料が増加した一方、年間を通し節電・節水を行い、可能な限り備品・設備の修繕・清掃を指定管理者自身で行うなど、支出を抑えた。

## 10. 総合評価

良好 妥当 要努力 要改善 不適

**要努力**

施設の維持管理や省エネの取組みなど通常の運営には問題は見られないが、3.11の震災を受け、早急に「危機管理体制」の再整備を行なう必要がある。

## 11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

早急に「緊急時の危機管理マニュアル」を改定し、法定以外の訓練など万一の事態にそなえた対応も必要である。施設管理面では、これまでと同様設備や備品等の安全を保つよう管理していく。集会室の利用においては、民間企業の新たな発想で空き日を活用し、自主事業などで利用率の向上を図る。